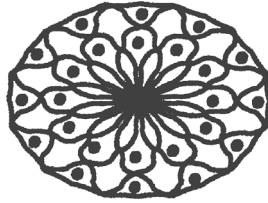


# コスモス創刊七十周年記念号



## みづからの生の証明を

われわれは作品によつてみづからの生を証明したいと思ひます。

われわれは内と外における時間の推移を作品から適さないと共に、また現在が抱いてゐる筈の永遠質をも注目して把へたいと思ひます。

更に加へますならば、われわれがいかなる時代の生命者であるかを、作品発想の基底において自覚してゐたいとおもひます。その意味で批判精神を衰へさせない決心です。

詩が形式を求めるものであり、短歌は民族語の伝統が選んだ詩形であるといふことを承知して居ります。われわれは抒情詩である短歌がすべてを表現し得るとは確信して居りませんが、その限界がどこにあるかを発見したいとする勇氣をまた放棄しないでせう。

誌名「コスモス」を、いかやうの意味にうけとつていただいても結構です。われわれは苦難多いであらう今後の営為の中で、同人と共に注ぐ努力によつてのみ、その意味を処理してゆきたいと思ひます。

昭和二十八年三月

宮 柁 二

目次

■コスモス創刊七十周年・記念特集

創刊70周年からの出発(巻頭随想)……………	武田弘之……………	8
これからのコスモス、これからの結社(座談会)……………	……………	12
高野公彦・大松達知・水上美季・小島ゆかり(司会兼)……………	……………	12
エッセイ(1)コスモス入会のごろ……………	……………	22
浅野千里・鮎沢永二・江頭洋子・小田部雅子・影山一男・狩野一男・河北笑子・桑原正紀・佐藤慶子・新保弥代枝・鈴木千登世・摩尼久晴・宮里信輝・義原一郎……………	……………	28
なつかしの歌人たち……………	……………	28
初井しづ枝(薄葉茂)・野村清(白川ユウコ)・鈴木英夫(金子智佐代)・田谷鋭(三沢左右)・宮英子(岩崎佑太)・葛原繁(斎藤美衣)・三木アヤ(水辺あお)・安立スハル(才野洋)・浦池由之(海老原光子)・杜沢光一郎(椎名惠理)・岡崎康行(山田恵里)・柏崎驍二(中村敬子)……………	……………	34
エッセイ(2)私にとつてのコスモス……………	……………	34
有川知津子・磯川朋美・梅田陽介・大西淳子・河合育子・小島なお・斉藤倫子・島本ちひろ・内藤丈子・中村恵・早川晃央・前中映・人見江一・宮梓一……………	……………	34